

在ブラジル日本国大使館

最近の経済情勢 2019 年 11 月号

令和元年 11 月 13 日掲載

1. 経済情勢等(10 月発表の経済指標)

(1) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に関して、10 月 28 日付公表資料によると、GDP 成長率予測については、2019 年は 0.91%で先週より+0.03%、2020 年は 2.00%で先週から変わらず。インフレ率予測については、2019 年は 3.29%で先週から▲0.11%、2020 年は 3.60%で先週から▲0.06%となった。

(2) 8 月の鉱工業生産指数(季節調整済み)は、前月比+0.8%、前年同月比▲2.3%となり、3 ヶ月連続でマイナスを記録した。前月比では鉱業が+6.6%となった一方、自動車製造が▲3.0%となったことで全体の伸びを抑えた。

(3) 8 月の小売売上高は、前月比+0.1%、前年同月比+1.3%を記録、1 月～8 月の累積値は 1.2%となった。

(4) 全国の失業率(7～9 月の移動平均)は 11.8%となり、4～6 月の移動平均値(12.0%)から 0.2%低下した。雇用者数は 9,380 万人となり前四半期比+0.5%と安定して伸びている。

(5) 8 月の貿易収支は、輸出額は 187.51 億ドル(前年同月比▲13.00%、前月比▲6.19%)、輸入額は 155.69 億ドル(前年同月比▲17.09%、前月比▲12.34%)で、差引き 31.8 億ドルで前月比 9.55 億ドル低下(前年同月比▲14.68%、前月比+42.75%)。米中貿易摩擦の影響で大豆、鉄鋼の対中輸出が落ち込んでおり、1 月から 8 月の累積値は▲315 億ドル(前年同月比▲6.2 億ドル)となった。

(6) 9 月の拡大消費者物価指数(IPCA)は単月で▲0.04%となり、前月の+0.11%から 0.15%下落した。12 ヶ月の累計では 2.89%で 8 月の 3.43%から大幅に低下した。

2. 経済政策等

(1) 1 日, 上院本会議は, 年金制度改革法案について, 第 1 回投票で賛成 56 票, 反対 19 票で可決, 22 日の第 2 回投票により, 賛成票 60 票, 反対票 19 票で承認した。当初, 今後 10 年間の歳出削減効果を 1 兆 2,000 億レアルと見込んでいたが, 下院と上院での審議の結果, 8,000 億レアルへと大幅に落ち込むとゲデス経済相は述べた。

(2) 2 日, 経済省は, 今年の貿易収支について前回 7 月の予想である 567 億ドルの黒字から, 前年比 28.0%減少に相当する 418 億ドルの黒字予想に下方修正した。対中輸出, アルゼンチン向け自動車輸出の減少が要因と指摘している。

(3) 9 月の金融政策委員会の利下げを受けて, 連邦貯蓄金庫(CAIXA)は, 預金システム, 住宅金融システム(SFH)及び不動産金融システム(SFI)を通じた住宅購入クレジット金利の最大 1.0%引下げを決定した。

(4) 22 日, 現役サラリーマンの勤続期間保障基金(FGTS)預金や凍結預金の先払い政策の経済効果について 120 億レアル, また貧困層向け生活扶助のボルサファミリア受給者向けの 13 か月サラリー支払いで 25 億レアル, 総額 145 億レアルが消費市場に流入されるとサッシダ経済政策局長は言及。

(5) 25 日, 伯中銀は, 9 月の経常収支赤字(過去 12 ヶ月)が, 3 月から 6 カ月連続の増加傾向で 374 億 3,500 万ドル, 経常収支赤字の GDP 比が 2.05%となったと発表した。今年 2 月の経常収支赤字が GDP 比 1.23%から大幅に上昇した要因として, 米中貿易摩擦継続による世界貿易縮小の影響, アルゼンチンの為替危機によるブラジルの輸出減少及びブラジル国内経済の緩やかな回復による輸入増加を挙げた。

3. 中銀の金融政策等

金融政策委員会(Copom)は, 10 月 29 日及び 30 日, 前回の 9 月会合に引き続き, 政策金利(Selic)を 0.50%引き下げ, 年率 5.00%とすることを決定。10 月 28 日, 中銀レ

ポート(Focus)では 2019 年末時点のインフレ見通しは 3.29%と低下傾向が継続している。
次回会合は、12 月 10 日及び 11 日。

4. 為替市場

10 月の為替レートは、1 ドル＝3.96～4.18 レアル台で推移。月の前半は、4.15 レアル台で始まったが、米中通商交渉の進展期待、年金改革法案の承認を要因として、レアル高方向に推移した。月の後半は、アルゼンチン大統領選挙に対する不安からレアル安に推移したが、27 日に為替規制が施行されたことで、当面の混乱を回避し、終値は 4.0184 レアル／ドルとなった。

5. 株式市場

10 月のブラジルの株式相場(Ibovespa)は、過去最高値の 108,000 ポイントまで上昇した。米中貿易交渉の進展期待や年金制度改革法案の承認に伴い、7 月に記録した 106,650 ポイントを 3 ヶ月ぶりに更新し、史上最高値を更新した。月の後半は、108,000 ポイントから利益確定売りに押されたが、アルゼンチン大統領選挙後に大きな下げは見られず、終値は 107,220 ポイントとなった。

[このページのトップへ戻る](#)

[法的事項](#) / [アクセシビリティについて](#) / [プライバシーポリシー](#)

Copyright(C):2014 Embaixada do Japão - Todos os direitos reservados